石川県七尾市の一本杉通り振興会より義援金へのお礼状が届きましたのでご紹介いたします。（原文のまま）

喜多見商店街振興組合
　理事長　　石井　博　様

　拝啓陽春の候、喜多見商店街振興組合の皆様におかれましては、ますますご清祥こととお慶び申し上げます。
　この度は昨年に引き続き能登半島地震の被害に対し多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。震災から時間が経過する中でも、世田谷の地から温かな手を差し伸べていただいたことに振興会員一同、言葉では言い尽くせないほど感謝しております。
　今回の震災で私たちの商店街も大きな被害を受け、夜の通りを照らす街路灯も多くが破損してしまいました。頂戴いたしました貴重なご支援金は、この街路灯の修理代金として大切に活用させていただきます。
　商店街にとって街路灯の明かりは地域の安心と安全の象徴でもあります。皆様のおかげで再び通りに灯がともることは、私たちの心を明るく照らし、復興の大きな希望となります。
　未だ厳しい状況は続きますが皆様からのエールを糧に、再び活気ある一本杉通りの姿を皆様にお見せできるよう、一歩ずつ歩みを進めてまいる所存です。
　末筆ながら喜多見商店街振興組合の益々のご発展と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、略儀ながら書中をもちまして厚く御礼申し上げます。

謹白

令和８年３月
　一本杉通り振興会
　　会長　　高澤　久